

目標達成計画

事業所名

おばあ温泉
グループホーム 湯之崎

作成日：

平成 25 年 3 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	54	居心地良い居室への配慮として、日中未使用のポータブルトイレの保管には工夫が必要と思われる。またパッドの箱をそのまま収納箱としているのは羞恥心への配慮が欠けていると思われ、対応が必要である。	居室内の整理整頓はもちろん、お客様やご家族様がいつ面会に来られてもよい様な快適な空間を常に心がける様にしたい	ポータブルトイレに関しては、昼間は居室内のお縁(障子で仕切られた廊下)スペースへ移動し布をかけ、収納箱に関してもソファカバーをかけ、改善した。	1 ヶ月
2	4	運営推進会議が、意見交換及びホームのサービス向上に有意義な会議となっており、今後も継続的に会議が行われ年6回の開催を期待する。	年6回、定期的に行う。	平成25年2月21日に第6回を開催し、平成24年度は6回終了。 次年度以降も毎偶数月／第3木曜日開催と決め、定期的に行っていく。	2 ヶ月
3	26	介護計画は利用者がよりよく暮らすための支援内容であり、利用者主体の支援内容が望ましい。また介護計画のモニタリング・評価に至る支援経過内容がわかるような個人記録の方法を検討することを期待したい。	どちらかといえば介護者側の目線で作成した介護計画になりがちであったものを、入居者様目線で、入居者様主体の介護計画に修正していく。	平成24年9～10月の介護支援専門員実務従事者基礎研修(計画作成担当者／豊田)受講後より、随時見直し行い、入居者様の立場になってみて作成をする様心がけている。しかし、個人記録に関しては、現在の方法は職員が長い時間をかけてホーム独自に作り上げてきたものでもあり、自負もある。介護計画を無視した支援をしていけば問題もあるが、きちんと対応できている間は評価してあげたいと思っており、必要となれば即対応していく。	9 ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。